＜里山ハイキング実施報告＞

猪子山散策（北向十一面岩屋観音と巨石の神々）

里山ハイキング同好会会長　３１期　髙山雅史

令和７年４月１６日実施

能登川駅から見える猪子山の頂上にある北向十一面岩屋観音へ行きました。ＪＲ能登川駅から十分ほどの猪子山公園の登山口まで歩きました。猪子山は 267.5m の低山ですが古墳時代後期の横穴式石室古墳が 100 基以上あります。古代人には巨石、奇岩に対する崇拝があり岩石を神が宿る神聖なものとして信じていました。このパワースポットともいうべき巨岩の数々が猪子山に散在しています。

猪子山公園入り口の上山天満天神社の大きな鳥居をくぐり舗装路を上ります。桜の花は散り初めで３割ぐらい残り、道幅いっぱいに桜の花が散らばり、上方の花のピンクと合わさり春爛漫といった風情でウキウキした気分になりました。

途中の大きな船形石の横にある比良より比良大神がご乗船された岩船が祭られている岩船神社に参拝しました。さらに道に沿ってある２つの石室古墳を見て、８割り方上ったところの分岐を右折して巨岩のある道に入りました。

この道の左側に巨石信仰の巨岩、奇岩がありました。それぞれに名前が付いており大玉命（フトダマノミコト）から始まり天児屋命（アマノコヤネノミコト）と続き、頂上の観音の背後にある天細女命（アメノウズメノミコト）で最後は玉祖清命（タマノオヤネノミコト）まで８つの名前がありました。いづれも見ごたえのある巨岩です。

舗装の切れたところから土の山道が始まります。この道の両側はあふれる新緑の中にピンクのミツバツツジの花があちこちに点々と咲き、快晴の青色と合わさりまさにすばらしい最高のハイキング道です。丸太階段のあるアップダウン道を登り切ったところが頂上で、すぐ下に北向十一面岩屋観音鎮座していました。観音堂は巨岩　烏帽子岩に抱かれていました。

前の東屋で昼食後観音堂の前扉を開き中に入り参拝。大岩のえぐられた洞内の奥には本尊が安置されていました。

そんなお堂前の開けたところからは琵琶湖の大展望が広がります。上空は渡り鳥（ハヤブサ、ノスリ，チュウヒ、チョウゲンボウなど）の有名なコースです。例年９月から１１月にかけて１２０００から１５０００羽、１日最高２０００～３０００羽が上空５００m～１５００mを南の越冬地へ向かって渡って行きます。東屋に画像が展示されていました。

この後長い石段を下り佐生（サショウ）日吉城址へ向かいました。六角氏の家臣後藤氏が観音寺城の支城として築いたといわれていますが、１５６８年信長により落城。本丸南側の一段高いところに立派な石垣の角のみが残っていました。

１０分ほど下り公園への途中に通った瓜生川に沿った遊歩道を通りＪＲ能登川駅へ戻りました。短いコースでしたが燃え盛りの新緑とミツバツツジに彩られた山道や桜の花絨毯の道は春の山の高揚感を目一杯持たせてくれた楽しいハイキングでした。

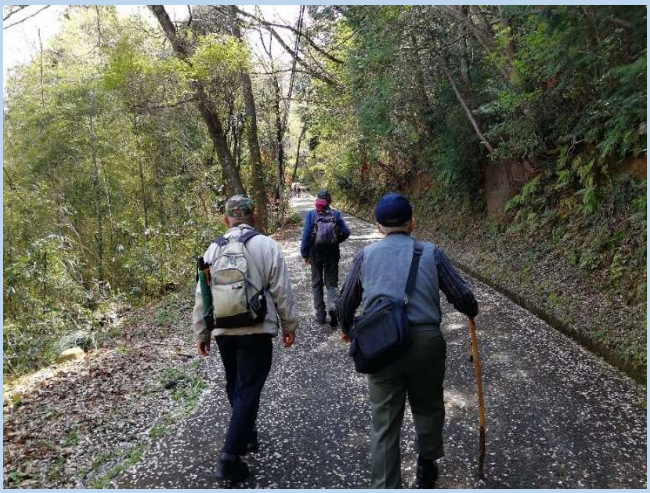
頂上

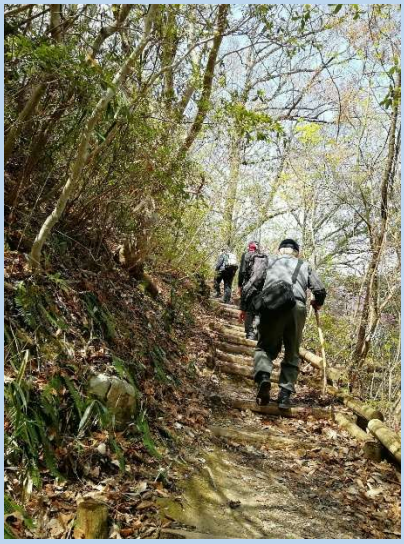
烏帽子岩

観音前

北向十一面観世音菩薩

猪子山標高 267.5





佐生日吉城跡435m
北向地蔵寺 12K

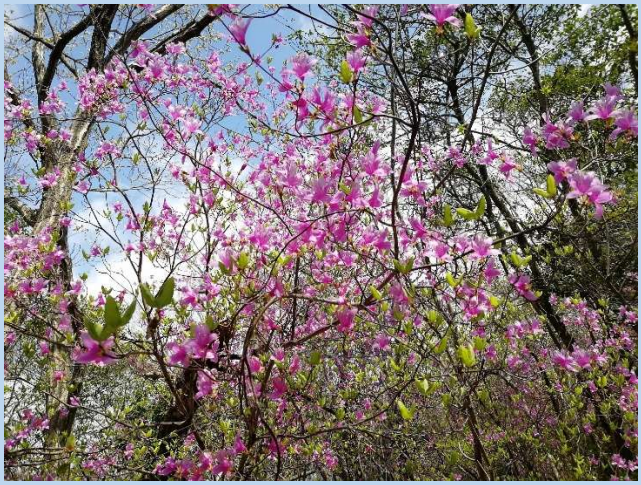
佐生日吉城跡

後波但馬守城址

巨石の神々を
訪ねる道

太玉命

石凝姥命



色々な　春先の花々を鑑賞出来ました